

11月19日、林業公社対策特別委員会：平田英勝委員長、星名建市副委員長のもと、自民党林政議員連盟(岩井均会長)を中心とした廃止案を全会一致(他の会派も賛成)で決定いたしました。



林業公社対策特別委員会  
委員長 平田 英勝



林業公社対策特別委員会  
副委員長 星名 建市



自民党林政議員連盟  
会長 岩井 均

## 林業公社の廃止について自民党県連の見解

自民党県連政調会長 村岡隆村:談話



長い議論の末、私達は林業公社の廃止を結論しました。公社に携わる人たちの救済を含めこの決定が県民の利益となる事を確信します。

さて、私達はこのような苦渋の決断を議会として政治集団として行い続けています。

国債を自分の都合で印刷できる政府とは違い、私達地方政治は「入るを計りて、出るを制する」ことが、宿命であり、事業を仕分けることは地方政治の当然の責任であります。

又、今までこのような大きな判断は、県庁の職員を中心に外部審議会で行われる例が大半でした。その結果、大きな改革を伴わないラベルの貼り換え程度の問題の先送りが慣例となり、時間の経過とともに、より大きな問題を生んでまいりました。

今回の廃止決定は、その慣例の澱みに大きな一石を投じることとなると考えます。

一方、この決定を行った政治集団・自民党としての責任を私たち自身が背負う事になります。つまり、公社廃止後の林政推進とプロパーとして林業公社に関する人の未来に対して全力で支援しなくてはならないと考えます。